

この「山梨」に実は溶け込んでいた！

こんな人

あんな場所

あのコミュニティ

この企業や店

素敵な「●●」を知ってほしい、と思っている皆さんへ

あなたの周りの「スペシャル」な

「ヒト・モノ・コト・バシヨ」 教えてください！

キュレーター

浅川 英郎 氏

＼特設サイト／



山梨県北杜市出身

日本大学芸術学部写真学科卒業。流行通信スタジオを経て、フリーランスのフォトグラファーへ。株式会社O202 代表取締役

レコードジャケット、ファッション、エディトリアル、広告を中心にクリエイティブ部門で活躍。ミュージックビデオやコマーシャルなどムービー撮影も手がけ、ディレクターとしても活動

写真作品は2025年度に東京都写真美術館コレクションに収蔵予定

主なCDジャケット

スピッツ、サザンオールスターズ、奥田民生、PUFFY、ライムスター、槇原敬之、椎名林檎、コブクロ、Kiroro 他

主な広告クライアント

資生堂、JAL、NISSAN、Panasonic、三菱電機、JR東日本、三菱UFJ銀行、Aflac、花王、セブン-イレブン 他



募集期間

開始 2024 12.11 WED → 締切 2025 1.17 FRI

＜あなたの素敵なストーリーを紹介してほしい＞

- ・山々に囲まれた山梨は、これまで、様々な人・文化・風習・考えなどを、受け入れ、取り入れ、「共生」しながら創られてきた。
- ・そんな山梨で、今、どんな人々・コミュニティー、新しいスポット・イベントなどが、「溶け込み」「共生」しているかを知りたい。
- ・皆さんには、**実は山梨に溶け込んでいた、素敵な山梨**を紹介してほしい！「こんな山梨があったんだ！」「こんな山梨っていいね！」と県民を唸らせるスペシャルな「ヒト・モノ・コト・バシヨ」を紹介してほしい。
- ・そのような思いから、今回、**山梨の未だ見ぬ魅力を発見**するスペシャルイベントを開催！

イベントメッセージは次ページ！

【テーマ】

「こんな山梨っていいね！」と思わせる「ヒト・モノ・コト・バシヨ」

- ・ジュエリー業界で活躍している素敵な外国人！
- ・森の中でパンを売っている、東京から移住してきた夫婦！
- ・これまで農地だったところに建っている格好いい工場！
- ・老若男女・外国人が交わるイベント・コミュニティ！
- ・誰も知らない私だけが知るスポット！ ・ LGBTQ+の方が経営するお店！
- ・おしゃれな野菜をつくっているおじいちゃんと若者！
- ・現場監督をしている女性の技術管理者！ ・ 笑顔が素敵な女性社長！
- ・あなたの大切な友達同士が笑い合う、いつもの教室の様子！ など

【提出形式】

- 写真・動画・イラストなど 電子ファイル形式で専用フォームから提出
- PRコメントも併せて提出 ※ 県の共生社会の取り組みをPRするフレーズも募集

【留意事項】

- ・提出された媒体は、今後、県の普及啓発素材として活用
- ・イラストの場合も、電子データで提出
- ・被写体の肖像権や著作権については、提出者が十分に注意を払い、提出者が責任を持って対応すること
- ・小中学生などは保護者の了解を得ていること

解説イベント 開催予定！

本イベント終了後、2025.1.30に
キュレーター 浅川 英郎 氏 による
「解説イベント」を開催します。

解説イベントでは、提出された写真・動画・イラストなどの、どこが面白いのか、テーマに沿っているのか、などをプロ目線で解説します。

提出いただいた方には、優先的にイベント情報を発信します。

山梨県 多様性社会・人材活躍推進局 男女共同参画・外国人活躍推進課

TEL : 055-223-1358 FAX : 055-223-1320 mail : tayousei@pref.yamanashi.lg.jp

あなたの周りの「素敵な山梨」「面白い山梨」「誰も知らない山梨」を教えてください。
なぜかって？ 山梨は、日本のほぼ中央に位置しており、北東部に秩父山塊、西部に3,000m級の山々からなるユネスコエコパーク南アルプス、南部には世界遺産富士山、北部には八ヶ岳・茅ヶ岳が広い裾野を引く**内陸県**。地図を見ると、山梨県は本当に山々に囲まれている**盆地**であることがよく分かる。そんな山梨は**独特な文化圏**も形成している。まずは、**甲州弁**に注目してみよう。甲州弁の否定の助動詞は「**～ん**」。あれ？ 否定の「～ん」って「～しん」「～へん」みたいに関西弁・名古屋弁など西日本で使われる言葉だよな…？ それに、山梨に近い静岡市では「～ねえ」。松本・佐久では「～ない」。でも、山梨県の特に甲府盆地周辺では、「行かないで」は「行かんで」、「食べないで」は「食べんで」…。否定の言葉で「～ん」が甲州弁に使われているよね？ ちょっと違和感がある…。さて「～ん」と「～ない」の**日本の境界線**はどこだろう。諸説あるが、「太平洋側は静岡県の真ん中～長野県～日本海側は新潟県」となっているらしい。その境界線で考えると、本来、山梨は「～ない」に分布しているはず。だけど「～ん」である。つまり、山梨周辺は**飛び地的**に「～ん」の地域になっているのだ。なぜ山梨は「～ん」になったのだろうか？ 古く昔、山梨は山々に囲まれ陸路での交通は困難を伴っ**た**。その際、山梨の人々に物資はどのように届いていたのか。実は、太平洋側から富士川を**船で遡上**して届けていたとか。物資は、海側で積み込まれ、富士川を船で遡り、山梨で降ろされる。山梨と海側は**富士川でつながる**のだ。そのとき、海から入った遠くの文化や風習が**山梨で交わる**。新しいヒト・モノ・コトを受け入れる土壌のあった山梨は、様々な文化・風習が、**飛び地的に交わる場所**であったのだ。そこでポイントになるのは「塩」。実は、山梨は塩を「瀬戸内・関西方面」から輸入していたなんて噂も。つまり、山梨は、塩を輸入していたが、それを船で運ぶ人たちは「～ん」を多様する関西方面の言葉に日常的に触れていたはず。山梨は、様々な文化・風習をさらりと受け入れ、これまでの地域に溶け込ませることができる場所であったことから、「～ん」という言葉も、徐々に甲州弁に溶け込んでいったのではないかな？ 山梨は、「塩」だけでなく**「～ん」という言葉も輸入**していたのかも！！**な～んて説も**。こうして現在、「～ん」「～ない」の分布図を見ると、山梨の甲府盆地周辺だけが、飛び地的に「～ん」を使っている地域になったのだ。一方、山梨県でも御坂山塊の南にある富士山周辺は「～ない」を使っている。同じ山梨でも「～ん」と「～ない」が**共存**しているのだ。この**よ**うに、山梨は、地理的には急峻な山々に囲まれた盆地であるにも関わらず、そのような新しく入ってくる人・文化・言葉などを受け入れ、ブレンドし、そして**定着**させていく、また、**共存**していく特異で特別な地である。次に、**「甲斐の国」**に注目してみよう。なぜ山梨は、「甲斐（かい）」と呼ばれていたのだろうか。「甲斐」の歴史的仮名遣いは**「かひ」**と表す

らしい。古く山梨の地は、東海道などからの人々が行き交^う地であった。「行き交ひ」の「交ひ」を由来に、時代とともに「ひ」が「い」と表記されるようになり「かい」となった。このように、**交通の結節点**としての「交ひ（い）」が転じ、「甲斐」になった**という説もあるらしい**。そして今、この説のとおり、中央自動車道・中部横断自動車道・東富士五湖道路・西関東連絡道路などの**道路網**や、JR中央本線・小海線・身延線・富士急行線、更にはリニア中央新幹線開通が控えるといった**鉄道網**によって、この山梨という地は、様々な「ヒト・モノ・コト・バショ」がリンクする場所に**バージョンアップ**しているのだ。「**交わる**」といった部分ではこんな面白いストーリーもある。山梨県は内陸県であるからか、**海への憧れ**が強い。裏付けるように、マグロやアサリの消費量が全国1、2を争うほど**魚介の消費量が高い**のだ。人口当たりの寿司店数も全国1位。江戸時代から寿司店も多かったらしい。海はないが山梨の名水を活かし、山梨は淡水魚の「ニジマス」と海水魚の「キングサーモン」を交配し「**富士の介**」を生み出した。憧れた海の幸を輸入するだけでなく、日本で唯一キングサーモンの血を引く交配魚を開発し、**山梨の地で海を手に入れた**のだ。このように考えてみると山梨は、様々なものを**ブレンド**し、新しいイノベーションを生み出**せ**る場所じゃないか！と思えてくる。最近では、富士山や八ヶ岳など、その豊かな自然に魅了された**県外・国外の人々**が、どんどん集まり**定着**し、地域・企業で様々な**相乗効果**を生み出しているらしい。いろいろ書いたケド、今、正に、**独特な文化圏・地域特性**を持つ山梨に様々な「ヒト・モノ・コト・バショ」が**集まり**だしている。私たちは、そんな「新しい」「まだ誰も知らない」「気付いていない」山梨を「知りたい」「理解したい」。そして、みんなに「知ってほしい」。実は、山梨県は「**やまなし多様性を認め合う共生社会づくり憲章**」というものをつくった。そこに、こんなフレーズがある。「自分とは違う考えや能力を**愉しみます**」「違いから**学びます**」。ここには、まだまだ知らない山梨があるかもしれない。これまで気付かなかった山梨を知り、理解し、飛び込んでみることで、山梨はどんどん**面白い場所**になるかもしれない。様々な人々・文化・考えなどが**混じり合う**ことで、新しいイノベーションが生まれると信じている。そんな想いを持って、今回、**あなたの周りのスペシャルな「ヒト・モノ・コト・バショ」**を**リサーチ**する。皆さんには、「こんな山梨があったんだ！」「こんな山梨って**く**いね！」といった、実は山梨に**溶け込んでいた素敵な山梨**を紹介してほしい。あなたの特別で**素敵なストーリー**を紹介してほしい。

特設サイト

<https://www.pref.yamanashi.jp/danjo-kyosei/kyoseisyakai/researchevent.html>

